

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年3月8日
【会社名】	株式会社SUMCO
【英訳名】	SUMCO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役 田口 洋一
【本店の所在の場所】	東京都港区芝浦一丁目2番1号
【電話番号】	03 - 5444 - 0808
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 大磯 健二
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝浦一丁目2番1号
【電話番号】	03 - 5444 - 0808
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 大磯 健二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、平成24年2月6日付で臨時報告書を提出しております。

本件につきまして、当該事象の損益及び連結損益に与える影響額が確定しましたので、金融商品取引法第24条の5第5項の規定に基づき、臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正内容】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

2【報告内容】

(2) 当該事象の内容

<訂正前>

当社は現状の業績の悪化を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当該繰延税金資産を取り崩すことといたしました。

また、当社グループは、現状の厳しい市場環境下においても、安定した収益を上げ得る企業体質を実現するため、「事業再生計画」を策定し実行することを決定しました。

当該「事業再生計画」の実行に伴って発生する損失は特別損失に計上する予定であります。

<訂正後>

当社は現状の業績の悪化を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当該繰延税金資産を取り崩すことといたしました。

また、当社グループは、現状の厳しい市場環境下においても、安定した収益を上げ得る企業体質を実現するため、「事業再生計画」を策定し実行することを決定しました。

当該「事業再生計画」の実行に伴って発生する損失は特別損失に計上いたします。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

(個別)

<訂正前>

当該事象により、平成24年1月期財務諸表において、事業構造改善費用および関係会社株式評価損等として約802億円を特別損失に、繰延税金資産の取崩しとして約273億円を法人税等調整額に計上する見込であります（金額は現在精査中）。

<訂正後>

当該事象により、平成24年1月期財務諸表において、関係会社株式評価損として45,350百万円、関係会社貸倒引当金繰入額として3,771百万円並びに事業構造改善費用として29,983百万円を特別損失に、また、繰延税金資産の取崩しとして27,268百万円を法人税等調整額に計上いたします。

(連結)

<訂正前>

当該事象により、平成24年1月期連結財務諸表において、事業構造改善費用として約582億円を特別損失に、繰延税金資産の取崩しとして約273億円を法人税等調整額に計上する見込であります（金額は現在精査中）。

<訂正後>

当該事象により、平成24年1月期連結財務諸表において、事業構造改善費用として58,115百万円を特別損失に、繰延税金資産の取崩しとして27,268百万円を法人税等調整額に計上いたします。

以 上